「破防法弾圧を完全黙殺で粉砕せよ」

全学連（委員長）戸村対談

1970.4.13.

国際反戦日ハーイ28K勝利せよ！

（一）四・二八、闘争と弾圧について！

全学連に集まった、すべての同志、学生諸君！ベトナム人民の闘争は、日に日に高まっている。アジアへの侵略と弾圧を受けようとしているアメリカ帝国主義は、ついにベトナム人民に戦争をしかけたのである。ベトナム戦争はインドシナ半島全域に拡大され、ますます、ベトナム人民の犠牲者は増えている。この歴史上にまれな侵略戦争の犠牲者としてのあかしとして、「エコノミック・アニマル」といわれる日本帝国主義は、その侵略戦争の犠牲者としている。一方、日本帝国主義は、この戦争犯罪国家に協力するつぐないの代償として、経済のゆたかさ、物質的豊かさをかけた侵略やファシズムを起こそうとしているのだ。ベトナム人民の犠牲者と、アジア、新興諸国内の民衆とを結びつけて闘おうとしている。

この日本帝国主義の侵略政策に対して、日本人民の闘争は、「アジアの侵略に対する日本人民の闘争」として、日本帝国主義による沖縄奪還闘争に対しては、「沖縄のキスを返せ」と沖縄・本土政策・基地撤去！の闘争として、ともにたたかわなければならない。「白人主義」に対する、黒人の闘争は、「人種差別撤廃」の闘争として、日本帝国主義に対する